

4 視聴覚教育

No. 4 月報

- ・発行日 53. 7. 3
- ・発行 岡崎市AVL
- ・編集 広報委員会

保有数は、学校間格差が大きいといえますが、利状況から見ると、たとえ台数は少なくとも利用頻度の高い学校もあります。利用者の懇意が保有率の増加につながるものと思います。

普及するカラーテレビ

(中学校)

市内における中学校のカラーテレビの保有数は、年々着実に増加しています。昭和五十二年度の調査によると全学級備えつけの学校も、二校(城北、常磐、杏山)ありました。

なお、本年度、美川中学校では、二十一学級全部にカラーテレビを備えつけたのと同時に、カセットビデオコーダー四台を購入して、英語等の教科学習や校内の一心放送に利用している。

見聴覚主任実技研修会に参加して

城南小
太田 裕子

他の都市との
カラーTV保有率
の比較(中学校)

都市	カラーTV 保有率(%)
岡崎	29
碧南	45
刈谷	13
豊田	12
安城	10
西尾	12
高浜	7
知立	20
豊橋	8
豊川	7
蒲郡	46

市内中学校カラーテレビ保有状況

保有率	学校数
100%	3
80~99	0
60~79	1
40~59	0
20~39	4
10~19	4
10%以下	2

$$\text{保有率} = \frac{\text{TV台数}}{\text{総学級数}}$$

主任とはいえ、視聴覚機器については、ほとんど知らないという状態でした。特にOHPやレントレンタルなどは利用する機会が多いのにむかわらず、その整備については全く知りませんでした。しかし、この実技研修会に参加して、基本的な方法についてよくわかりました。さすが同じような問題をもつている新任教員も多いと思いました。まだ、むずかしいことは無理ですが、これから足がかりになりました。

金利利用を通じての

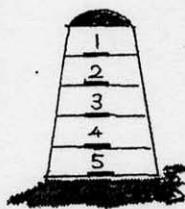
ビデオ箱運動の実践

藤川小

酒井理子

VTRの鏡利用で一年の体育「腕立て伏せ上がり」と「ひおり」を指導しました。

VTRの機械操作は、名称やコードの接続を覚えるのに何日もかかり苦労しましたが、なにとか操作できるようになつた授業に取り組みました。テレビから自分の姿を見て喜びだり驚いたりする子どもの姿は、ほほえましいのです。私自身、機械操作が未熟であったため、機械に氣をとられ低学年の人遊び的要素を充分生かしきれなかつたあたりにはありますが、児童の素朴な喜びは、体育指導に有効であり、また、この授業を通して、視聴覚機器を天てに活用でき大変勉強になりました。



放送教育研究部真ハニーリー研究サークル
気軽に、参加下さい。詳細は視聴覚主任へ

夏季実技講習会のす知らセ

・「6ミニ映写技術者養成講習会」 7月29~30日

働く婦人会館 (認定証未取得者会員)

・「HP実技講習会」 8月1日

働く婦人会館 (希望者 約80名)

・「VTR実技講習会」

連戸小学校 (希望者 約60名) 8月2日

・「校内放送研修会」

次のように機材が入りました。
○テープ・プレーヤー
○カセットテープを高速で「コピー」する機械、一時間テープもわずか四分でOKです。

○ビデオカメラ 映写機
明るい画面は、大会場で上映する時偉力を發揮します。操作は、普通の映写機と多少異なります。

単色カラーテープの作成、原紙作成等のつかい方を教わる。